



2016年1月26日

各 位

エーディア株式会社

**全自動免疫測定装置 HISCL<sup>®</sup>シリーズ用の  
肝細胞癌診断補助マーカーPIVKA-Ⅱ測定用試薬「HISCL PIVKA-Ⅱ試薬」を新発売**

エーディア株式会社(本社:東京都、社長:横尾 毅、以下 エーディア)は、肝細胞癌診断補助試薬「HISCL PIVKA-Ⅱ試薬」を2016年1月29日に新発売します。

「HISCL PIVKA-Ⅱ試薬」はシスメックス株式会社(本社:兵庫県、代表取締役会長兼社長:家次 恒、以下 シスメックス)が製造販売する全自動免疫測定装置 HISCL シリーズで測定可能な、肝細胞癌診断補助マーカーPIVKA-Ⅱ測定用試薬です。本試薬は、エーディアとシスメックスとの契約に基づいてシスメックスが設計開発を行い、エーディアが製造販売元となり、エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫、以下 エーザイ)と販売提携を行います。なお、本試薬の製造は、シスメックスの関係会社であるシスメックス国際試薬株式会社(本社:兵庫県、代表取締役社長:浜口行雄)が行います。

PIVKA-Ⅱは、肝細胞癌に特異性の高い腫瘍マーカーとして広く使用されています。現在、エーディアは、PIVKA-Ⅱ測定用試薬として「ピコルミ PIVKA-Ⅱ MONO」(電気化学発光免疫測定法)、「ルミパルス PIVKA-Ⅱ エーザイ」(全自動化学発光酵素免疫測定システム用)、「E テスト「TOSOH」Ⅱ (PIVKA-Ⅱ)」(全自動蛍光酵素免疫測定装置用)、「ステイシアCLEIA PIVKA-Ⅱ エーザイ」(全自動臨床検査システム用)を販売しています。

HISCL シリーズは、化学発光酵素免疫測定法(CLEIA: Chemiluminescence Enzyme Immunoassay)を用いた全自動免疫測定装置です。酵素を使用した化学発光法により検体中の微量物質を測定し、検体吸引から測定結果表示まで約17分という短時間で測定できることが主な特長です。肝炎、感染症、がん、HIV、心不全などの検査に加え、近年は肝線維化マーカー試薬やアトピー性皮膚炎マーカー試薬などの試薬製品のラインアップを充実させており、幅広い検査施設で利用されています。また、HISCLはシスメックスの登録商標です。

エーディアは、HISCL シリーズに搭載可能な PIVKA-Ⅱ測定用試薬を販売することにより、肝細胞癌に対する診断補助、治療効果判定の利便性をより高め、患者様とご家族、さらには医療関係者の多様なニーズの充足とベネフィット向上に一層貢献してまいります。

以 上

[参考資料として、製品概要、用語解説、製品写真を添付しています]

<本プレスリリースに関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先>

エーディア株式会社 広報担当

Tel: 03-3865-4311

<本製品に関するお問い合わせ先>

エーディア株式会社 カスタマーサポートセンター

Tel: 0120-921-207

## 参考資料

### ■製品概要

製 品 名	HISCL PIVKA-II 試薬
使 用 目 的	血清中の異常プロトロンビン(PIVKA-II)の測定(悪性腫瘍の診断の補助等)
対 応 機 種	HISCL-5000、HISCL-2000i、HISCL-800
包 装	100 テスト用
希 望 納 入 価	150,000 円
製 造 販 売 元	エーディア株式会社
販 売 提 携	エーザイ株式会社
製 造 元	シスメックス国際試薬株式会社

### ■用語解説

#### 1. 肝細胞癌

肝癌のほとんどは肝細胞癌であり、日本における悪性腫瘍死亡数の中で、男性で第4位、女性で第7位(2013年)の疾患です。肝細胞癌の症例の多くは肝炎ウイルスの感染を伴う慢性肝炎や肝硬変を経て発症します。

#### 2. PIVKA-II

ビタミンK欠乏により生じる異常な血液凝固第II因子(プロトロンビン)で、1984年に肝細胞癌患者様の血中に高率に出現することが報告されて以来、肝細胞癌の腫瘍マーカーとして認知され、広く日常の診療で測定されています。

### ■製品写真



(HISCL PIVKA-II 試薬)